

長野中央西地区市街地総合再生基本計画【概要版】

令和4年2月／長野市 市街地整備課

長野市では、長野駅周辺から新田町交差点周辺の地区において、老朽建物や低未利用地の増加などの問題解決や適切な都市機能の立地と開発の誘導、市街地環境の整備・改善など、将来に向けたまちづくりを官民連携で進めるため、「長野中央西地区市街地総合再生基本計画」を策定しました。

計画の概要

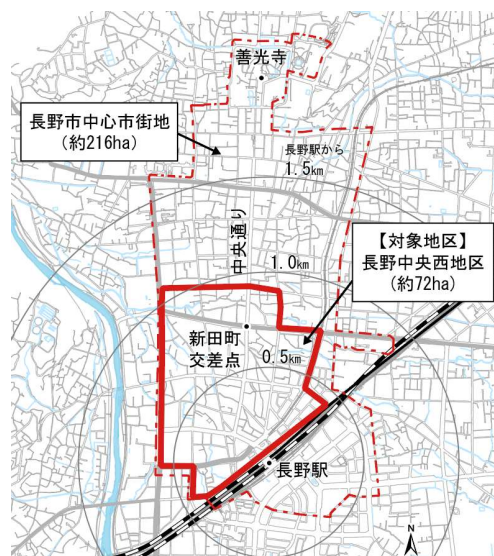
● 計画対象地区

長野中央西地区

善光寺表参道（中央通り）の長野駅～新田町交差点を軸とするエリア（約72ha）

● 計画の位置づけ

- 本計画は、上位・関連計画との整合を図りながら、官民連携によるまちづくりの推進に向け、目標・基本方針、重点エリアの整備方針等を定めるものです。



● 計画の構成

中心市街地の現況と課題

- 上位・関連計画
- 中心市街地及び対象地区の概況
- 市民ニーズ等の把握
- 中心市街地の課題

長野中央西地区の基本方針等

- 長野中央西地区の位置づけ・まちづくりの進め方・まちづくりに必要な視点
- 長野中央西地区の目標・基本方針・基本戦略

重点エリアの整備方針等

- 重点エリアの設定
- 重点エリアの整備方針・地区整備計画
- 実現化方策

中心市街地の課題

課題 ① 低未利用の土地・建物の有効活用による都市機能の充実

低未利用地や老朽化した建築物の更新の機会を活用しながら、日常生活を支える拠点・市全体の広域拠点としての機能強化を図ることが必要

課題 ② 快適な回遊・滞留空間の創出

安心・快適に移動できる歩行者動線や、休憩・憩いの場としての公園・水辺空間の確保等、人を中心とした快適な回遊・滞留空間の創出が必要

課題 ③ 公共交通の利便性向上

自動車や自転車、歩行者等、多様な移動手段と連携しながら、公共交通の利便性向上を図ることが必要

課題 ④ まちなか居住の推進

中心市街地に“住む・暮らす”という観点から、生活サービス機能の充実等、まちなか居住を支えるための住環境の向上が必要

課題 ⑤ 善光寺門前町としての景観の統一と空間の利活用

善光寺から駅までの景観の連続性の確保及び景観と調和した空間の利活用により、固有の歴史・文化の保全・活用を通じたまちづくりが必要

長野中央西地区のまちづくりに必要な視点

- ・本計画の対象地区である長野中央西地区は、長野駅周辺・新田町交差点周辺という二つの拠点と中央通りという中心となる軸を含む、中心市街地において重要な地区です。
- ・中心市街地の課題に対応し、中心市街地全体の利便性や価値を高めていくために、長野中央西地区のまちづくりを進めるうえで必要な視点を以下のように整理します。

● 中心市街地におけるまちづくりの方向性

■ 中心市街地の課題

- ① 低未利用の土地・建物の有効活用による都市機能の充実
- ② 快適な回遊・滞留空間の創出
- ③ 公共交通の利便性向上
- ④ まちなか居住の推進
- ⑤ 善光寺門前町としての景観の統一と空間の利活用

■ 中心市街地におけるまちづくりの方向性

「使い方」を中心に考え、多様性、特有性、回遊性の強化を図るための取組みを推進する。

■ 近年のまちづくりの潮流
人を中心とした持続可能なまちづくり

■ 世界的な潮流
SDGs（持続可能な開発目標）

● 長野中央西地区の位置づけ・まちづくりの進め方

○長野中央西地区は、二つの拠点と中心となる軸を有する重要なエリアであり、各拠点と軸の強化が求められている。

長野駅周辺エリア

多様な都市機能の集積により魅力とにぎわいを生み出すまちの玄関口

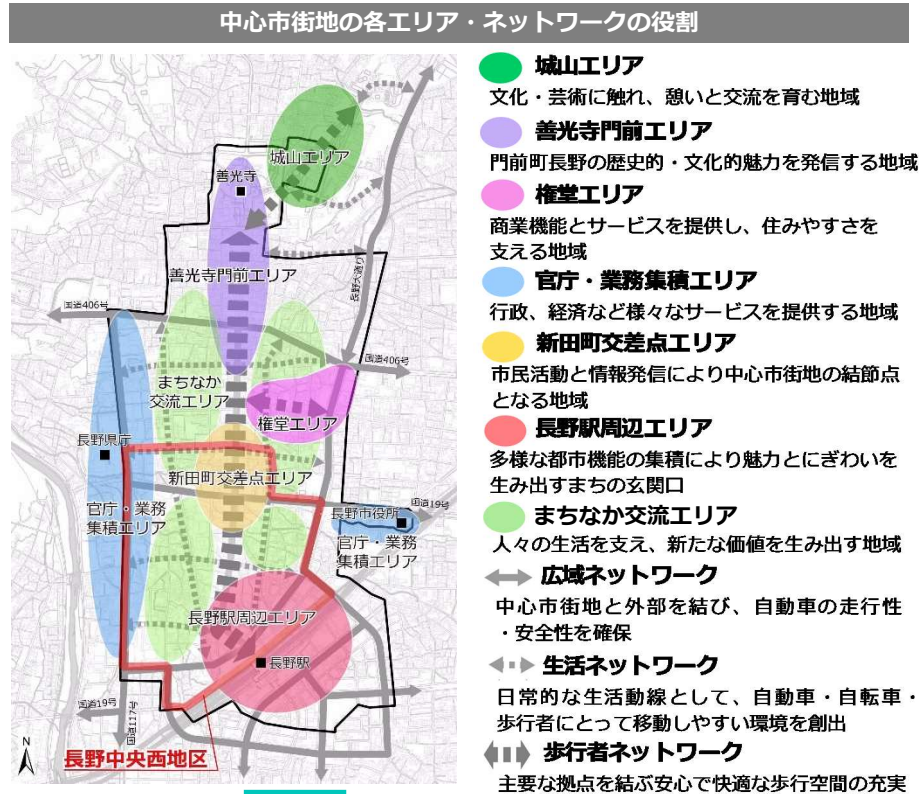
新田町交差点エリア

市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域

中央通り

中心市街地の各エリアを結ぶ門前町長野のシンボルストリート

○多様なまちづくりの主体の関与が想定され、官民連携でのまちづくりが必要



● 必要な視点（長野中央西地区に求められること）

暮らし	課題 ①②④	交通	課題 ②③④	景観 (アメニティ)	課題 ①②④⑤	産業 (商業・観光)	課題 ①②③⑤
日常生活に必要な施設や子ども・若者等が楽しめる施設等、市民の目的地となり、暮らしを支える場(施設)の創出		自動車・自転車・徒歩・公共交通等、多様な交通手段における利便性、快適性の向上		歴史文化資源を活かした美しい景観と緑や水を感じられる憩い・潤いの場の創出		まちの玄関口であり、商業・観光の中心地としての活力の向上とまちなかへの観光客等の誘導	

(各分野共通して必要な視点)

環境配慮・防災

各分野において、エネルギーの効率的利用やグリーンインフラの推進等、環境負荷の低減を図るとともに、ハード・ソフト両面での防災・減災対策の推進を図る。

長野中央西地区の目標・基本方針・基本戦略

・長野中央西地区の位置づけや求められていることを踏まえ、まちづくりの目標、基本方針、基本戦略を以下のように設定します。

●長野中央西地区の目標

住みたいまちの実現
 ～ 未来につなぐ・人をつなぐ・門前都市ながの～

●基本方針・基本戦略

	基本方針	基本戦略	想定される取組みイメージ	
暮らし	<p>良好な居住環境と様々な過ごし方を可能とする拠点づくり</p> <p>生活に必要な機能を確保するとともに、憩い・学び・交流など、居住者だけでなく来街者も含めた幅広い世代の様々なニーズを満たす場・機会を創出する。</p>	<p>○人々の活動・交流につながる場・機会の創出</p> <p>○誰もが自由に過ごせる広場等の創出</p> <p>○多様なライフスタイルに応じた居住環境の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の機能を補完し、人々の活動・交流の促進、滞在環境を向上させる機能を導入する。 子どもたちの遊び場、人々の憩いの場となる公園や広場（公開空地等）等のパブリックスペースを創出し、活用する。 住む、働く、遊ぶなど、それぞれのライフスタイルを実現し、安心・安全で快適に暮らすことのできる居住環境の整備と居住の誘導を図る。 	 <p>小学生の交流・学習スペース（山口県宇部市*）</p>  <p>パブリックスペースの活用（長野市セントラルスクエア）</p>  <p>集合住宅1階部の活動・交流スペース（東京都北区）</p>
	交通	<p>歩行者中心の移動環境創出による回遊性の向上</p> <p>交通結節機能の強化と交通ネットワークの再構築に合わせ、歩行者を中心とした移動環境の整備と道路の利活用、新技術を活用した新たなモビリティや交通サービスの導入等により、人々の回遊性の向上を図る。</p>	<p>○安全で居心地のよい歩行者のための空間づくり</p> <p>○様々な移動手段の導入と連携による利便性の向上</p> <p>○交通関連情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民や来街者等が安全で快適に歩くことのできる歩行者中心のみちづくりの推進と市民活動の場としての利用促進を図る。 短距離移動を支援するモビリティや新たな公共交通の導入、連携により、市民や来街者等の利便性の向上を図る。 渋滞情報や駐車場情報等、様々な交通関連情報を集約し、来街者等へ提供することで、目的に合わせた移動手段の選択、利便性の向上を図る。



本計画の実行により達成されるSDGsの目標(ゴール)

*出典：若者クリエイティブコンテナ（YCCU）提供資料

長野中央西地区の目標・基本方針・基本戦略

基本方針

基本戦略

想定される取組みイメージ

景観

門前町に ふさわしい 憩いと潤いのある 都市環境の創出

善光寺の門前町として発展してきた歴史・文化が感じられ、まちなかにおいても、ゆとりや憩い、潤いを楽しむことができる景観・空間を創出する。



○門前町に ふさわしい まちなみ景観 の創出

・善光寺表参道を軸とした、長野駅周辺の現代的なまちなみから、善光寺周辺の歴史的まちなみへのつながりを意識し、まちなみの連続性や調和に配慮する。



善光寺門前のまちなみ
(長野市大門町)

○まちなかに潤いと 安らぎを与える 緑・水景観の創出

・公共空間や民地（公開空地等）を活用した緑空間や、用水等を活用した親水空間を創出する。



用水を活用した親水空間
(長野市南八幡川)

○まちなみの 維持等に係る マネジメント 体制の構築

・市民や地元団体、企業等と連携したルール・体制づくりにより、地域の景観・環境をまもり、育む。



地元団体による清掃活動
(もんぜんパトナーシップ制度)

産業

新たな産業の振興 と情報発信の強化

先導的な都市として、時代やニーズ等の変化に応じた新たな産業振興を図るとともに、まちの玄関口（長野駅）と観光拠点（善光寺）を活かした情報発信機能等の強化により、地域産業の活性化を推進する。



○地域産業の振興

・観光コンテンツの拡充や信州発6次産業の発信、新たな時代を見据えた事業展開・サービス提供等により、商業、観光、農業等の既存産業の高付加価値化を図る。



地域産業の体験施設
(長野市とんくるりん)

○多様な就業機会 の創出

・IT環境整備やICT・コンテンツ産業、文化産業等、新たな都市型産業により、時代に即した多様な就業機会の創出を図る。



新しい働き方を可能とする
コワーキングスペース
(長野市CREEKS)

○まちの様々な 情報の収集・ 発信機能の強化

・自然、文化歴史、食、祭り・イベント、活動等、様々な地域資源・情報等を収集し、発信する機能と仕組みの強化を図る。

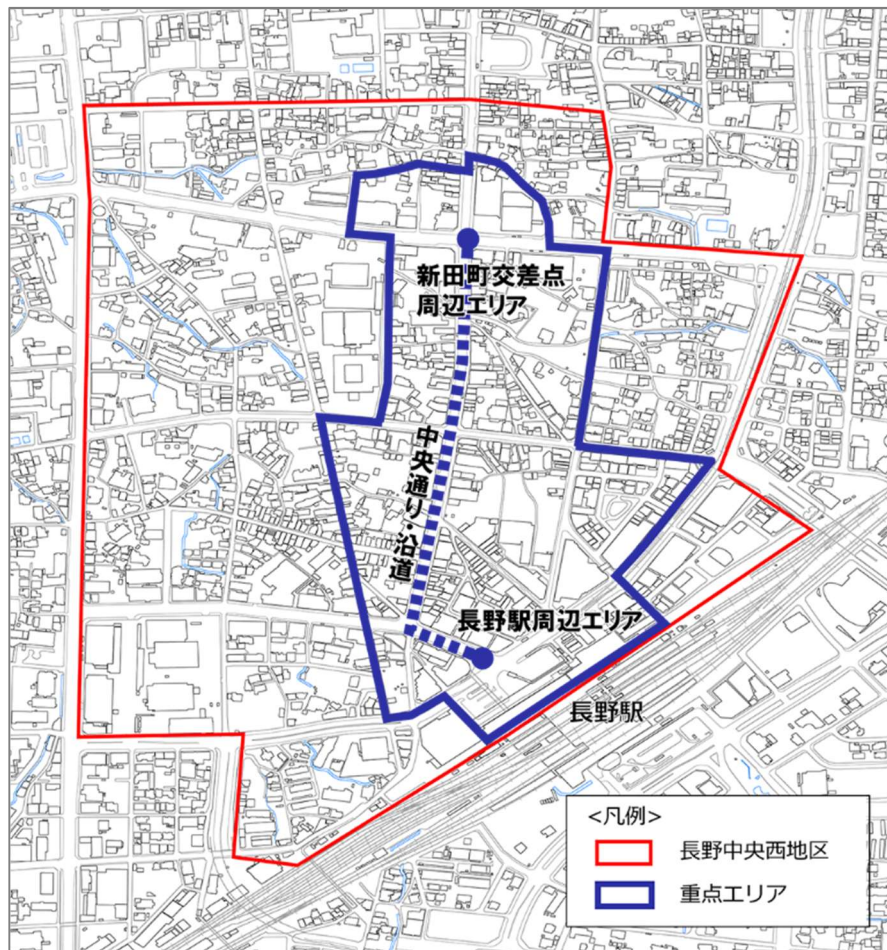


歴史的建築物を活用した
まちづくり拠点
(信州地域が「デザインセンター」)

重点エリアの整備方針・内容

- 長野中央西地区の目標・基本方針、基本戦略の実現に向け、本地区の市街地整備を効果的・効率的に進めるために、重点エリアを設定し、整備方針・内容を定めます。

●重点エリアの設定



●重点エリアの整備方針

暮らし	交通	景観	産業
<p>まちなか居住推進に向けた多様な住宅及び生活利便施設等の整備</p> <p>長野駅周辺 利便性の高い居住環境整備</p> <p>新田町周辺 市民のための交流拠点整備</p>	<p>歩行者等の快適性・利便性向上に向けた交通環境整備</p> <p>長野駅周辺 交通結節機能の強化</p> <p>新田町周辺 乗り継ぎ環境整備</p> <p>中央通り・沿道 歩行者のための環境整備</p>	<p>中央通りを中心とした景観の連続性確保やオープンスペースの創出</p> <p>長野駅周辺 まちの玄関口としての景観形成</p> <p>新田町周辺 緑・水辺空間の整備</p> <p>中央通り・沿道 善光寺表参道としての景観形成</p>	<p>商業・観光機能の強化と新たな都市機能の誘導による拠点整備</p> <p>長野駅周辺 広域的な都市機能の集積・強化</p> <p>新田町周辺 情報発信機能の強化</p>

重点エリアの整備方針・内容

●重点エリアの整備の考え方

	整備方針	整備の考え方
長野駅周辺	暮らし 利便性の高い居住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型住宅や生活利便施設の整備・誘導を行う。 ・商店街等の商業環境づくりの推進・支援を行う。 ・パブリックスペースの積極的な創出を誘導するとともに、民間主体による活用を推進する。 ・浸水被害防止対策やオープンスペースの整備等、災害時の安全対策を検討する。
	交通 交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中長距離バスターミナルの集約・整備を検討する。 ・駅利用者や駅周辺施設利用者のための駐車場（公共及び民間駐車場）の適正配置の検討を行う。 ・自転車利用促進のための道路改修、施設整備等の検討を行う。 ・大学や民間事業者等と連携し、スマートシティ実現に向けた検討を行う。
	景観 まちの玄関口としての景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみとの調和・連続性に配慮した建築物等のデザインの誘導を行う。 ・市街地整備事業と一体となったパブリックスペースの創出を誘導する。また、民間敷地における緑地等の創出や適正な管理を推進する。
	産業 広域的な都市機能の集積・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を図る。 ・商業・観光施設のサービスの充実や各施設の連携強化に向けた支援を行う。
新田町周辺	暮らし 市民のための交流拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な都市機能の立地・誘導を図る。 ・行政サービス機能の拡充について検討を行う。 ・官民連携で地域活動・交流促進に寄与する施設の整備・活用を図る。 ・浸水被害防止対策やオープンスペースの整備等、災害時の安全対策を検討する。
	交通 乗り継ぎ環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通と組み合わせた移動手段の確保を検討する。 ・市民が訪れやすく、利用しやすい場とするため駐輪スペースの設置を検討する。 ・周辺施設利用者のための駐車場（公共及び民間駐車場）の適正配置の検討を行う。
	景観 緑・水辺空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備事業と一体となったパブリックスペースや既存用水路を活用した水辺空間の創出を誘導する。 ・民間敷地における緑地等の創出や適正な管理を推進する。
	産業 情報発信機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・来街者等が地域の様々な情報を収集し、発信することのできる拠点整備や仕組みを検討する。 ・商業・観光施設のサービスの充実や各施設の連携強化に向けた支援を行う。
中央通り・沿道	交通 歩行者のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行環境改善に向けた社会実験等を実施し、道路空間の再配分や舗装、道路付属施設等の整備を行う。また、併せて交通規制の検討を行う。 ・官民一体となった歩行空間の整備や歩行者利便施設の設置・更新等を行う。 ・グリーンスローモビリティ等のまちなかの移動の利便性向上に寄与する新たな公共交通の導入を検討する。
	景観 善光寺表参道としての景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ・長野駅から善光寺までの景観の連続性に配慮しつつ、地区の特性を踏まえて道路等の美化や地区計画等による沿道建築物のデザインの誘導を行う。 ・沿道の敷地や建物低層部のオープン化や緑化の誘導を図る。 ・景観誘導に関するマネジメント体制の構築を推進する。

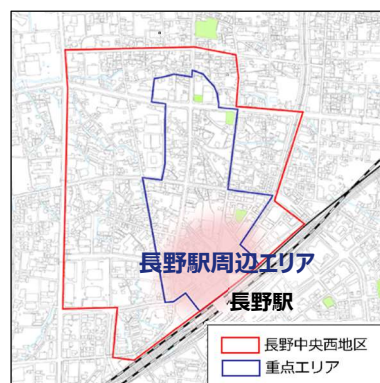
地区整備計画

- 各重点エリアの整備方針実現に向け、想定される整備手法や導入機能、建築に係る事項、官民連携の考え方等、地区整備に係る具体計画を定めます。

●長野駅周辺エリア

【都市計画の指定状況】

用途地域	: 商業地域
容積率/建ぺい率	: 500~600%/80%
防火・準防火地域	: 防火・準防火地域
高度利用地区	: 長野駅前A1地区高度利用地区 長野駅前A2地区高度利用地区



【再開発事業の実施及び建築物整備に関する計画】

整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導 都市型住宅や生活利便施設の整備・誘導 中長距離バスターミナルの集約・整備の検討 市街地再開発事業等によるパブリックスペース創出の誘導 建築物等のデザイン・緑化の誘導
想定される整備手法	<ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業 優良建築物等整備事業 個別・共同建替事業 リノベーション事業
想定される導入機能	<ul style="list-style-type: none"> 商業（物販、飲食、サービス 等） 宿泊（観光・ビジネスホテル 等） 観光（文化・芸術、観光サービス 等） 居住（都市型マンション、シェアハウス 等） 交通（中長距離バスターミナル、駐車場 等） 業務（オフィス、コワーキング 等）
建築規模・用途等	<ul style="list-style-type: none"> 市場動向・ニーズ等を踏まえた適正な規模の建築物を整備 低層部はにぎわい創出に寄与する商業、観光等のサービス系の用途を中心とし、中層部以上は居住、宿泊等の用途を想定
建築意匠・設備等	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎や駅周辺のまちなみとの調和・連続性に配慮したデザインを誘導 建築物の省エネルギー化、緑化等を誘導
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 民間所有地・建物が大部分を占めることから、民間主体による整備を基本とし、市は民間事業への支援や協力を行う。

【地区施設及び公開空地整備に関する計画】

整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用促進のための道路改修、施設整備等の検討 駅利用者や駅周辺施設利用者のための駐車場の適正配置の検討 パブリックスペースの積極的な創出の誘導と民間主体による活用の推進 地区施設における浸水被害防止対策やオープンスペースの整備等の検討
想定される整備手法・内容	<ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業等と一体となった道路整備・改修 市街地再開発事業等による公開空地の整備 個別・共同建替事業等によるパブリックスペース（セットバック空間等）の整備
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 市は民間による市街地整備と連携し、必要な地区施設の整備・改修を実施するとともに、公開空地等の整備を誘導 民間は市街地整備により、公開空地等のパブリックスペースの整備・活用を推進

【重点プロジェクト】

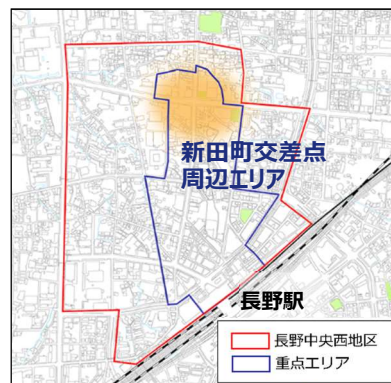
（仮称）長野駅前B-1地区市街地再開発事業（P.11参照）

地区整備計画

● 新田町交差点周辺エリア

【都市計画の指定状況】

- 用途地域 : 商業地域
- 容積率／建ぺい率 : 500%～600%／80%
- 防火・準防火地域 : 防火地域・準防火地域
- 高度利用地区 : 長野銀座A1地区高度利用地区
長野銀座D1地区高度利用地区
- 地区計画 : 長野銀座地区地区計画



【再開発事業の実施及び建築物整備に関する計画】

整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な都市機能の立地・誘導 ・行政サービス機能の拡充の検討 ・地域活動・交流促進に寄与する施設の整備・活用 ・市民・来街者等のための情報収集・発信拠点整備 ・市街地再開発事業等によるパブリックスペース創出の誘導 ・建築物等のデザイン・緑化の誘導
想定される整備手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業 ・優良建築物等整備事業 ・個別・共同建替事業 ・リノベーション事業 ・都市構造再編集集中支援事業 ・暮らし・にぎわい再生事業
想定される導入機能	<ul style="list-style-type: none"> ・商業（物販、飲食、サービス 等） ・行政サービス（子育て支援、交流支援、就労支援、青少年育成支援、生涯学習支援 等） ・文化・スポーツ（図書館、体育館、体験型文化施設 等） ・居住（ファミリー向けマンション 等）
建築規模・用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・市場動向・ニーズ等を踏まえた適正な規模の建築物を整備 ・低層部はにぎわい創出・交流促進に寄与する商業や市民サービス系の用途を中心とし、中層部以上は居住、宿泊等の用途を想定
建築意匠・設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの連続性に配慮したデザインを誘導 ・建築物の省エネルギー化、緑化等を誘導
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地や民間所有地を活用し、PPP*等により官民が協働して整備を推進

【地区施設及び公開空地整備に関する計画】

整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用促進のための駐輪スペース設置の検討 ・施設利用者のための駐車場の適正配置の検討 ・新たな公共交通の導入と連携した地区施設の整備の検討 ・パブリックスペースや水辺空間の創出の誘導 ・地区施設における浸水被害防止対策やオープンスペースの整備等の検討
想定される整備手法・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業等と一体となった道路整備・改修 ・市街地再開発事業等による公開空地等の整備 ・個別・共同建替事業等によるパブリックスペース（セットバック空間等）の整備
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地や民間所有地を活用し、PPP*等により官民が協働して整備を推進

【重点プロジェクト】

南西街区 もんぜんぶら座敷地利活用推進（P.11参照）

* PPP : パブリック・プライベート・パートナーシップの略で、行政と民間が連携し、民間の持つノウハウや技術を活用して行政サービスを行うスキームのことであり、行政サービス向上や財政資金の効率的な使用、業務効率化等が期待できる。

地区整備計画

●中央通り・沿道

【都市計画の指定状況】

- 用途地域 : 商業地域
- 容積率／建ぺい率 : 500～600％／80％
- 防火・準防火地域 : 防火地域
- 高度利用地区 : 長野駅前A2地区高度利用地区



【地区施設及び公開空地整備に関する計画】

整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路空間の再配分・舗装、道路付属施設等の整備 ・景観の連続性に配慮した道路の美装化 ・市街地再開発事業等によるパブリックスペース創出の誘導
想定される整備手法・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業等と一体となった道路整備・改修 ・市街地再開発事業等による公開空地の整備 ・個別・共同建替事業等によるパブリックスペース（セットバック空間等）の整備
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市は事業主体として道路整備を実施 ・民間は、市の事業と連携し、市街地再開発事業による公開空地の確保や個別・共同建替事業等による沿道部のセットバックを行う等、パブリックスペースの整備・活用を推進

【景観・環境整備の規制誘導に関する計画】

規制誘導の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道敷地や建物低層部のオープン化や緑化の誘導 ・建築物等のデザインの誘導 	
想定される規制誘導手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業等と合わせた地区計画の設定 ・建替事業等を契機とした景観協定や任意のまちづくりルールの設定 ・景観形成市民団体の認定 等 	
官民連携の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携により、ルールづくりを行い、各主体がルールに応じた景観・環境整備を推進する。 	
規制誘導項目	建築規模・用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物は市場動向やニーズ等を踏まえた適正な規模とする。 ・低層部はにぎわい創出や人々の活動・交流促進に寄与する用途（商業系用途等）とする。
	建築物のデザイン・色彩	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの連続性に配慮したデザインとし、低層部はガラス張り等のオープン化を図る。 ・建築物の外壁等は、周辺環境に配慮した色彩とする。
	外壁の後退距離	<ul style="list-style-type: none"> ・道路境界から2.0m以上の壁面後退により、歩行・滞留空間の確保に努める。
	建築物の構造・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー構造・設備の積極的な導入により、環境負荷の低減を図る。 ・配管類や室外機等の設備機器は、沿道景観に配慮した位置や目隠し等の工夫を行う。
	工作物・看板等	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物等は景観を損なわないものとし、まちの賑わいの演出や景観の統一等に配慮する。
	車両の出入り口・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の出入り口や駐車場を中央通り沿いに設けないことで、安全・安心な歩行空間の確保に努める。
	緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内緑化や壁面緑化等により、緑化の推進を図る。

【重点プロジェクト】

中央通りウォークアブル推進事業（P.11参照）

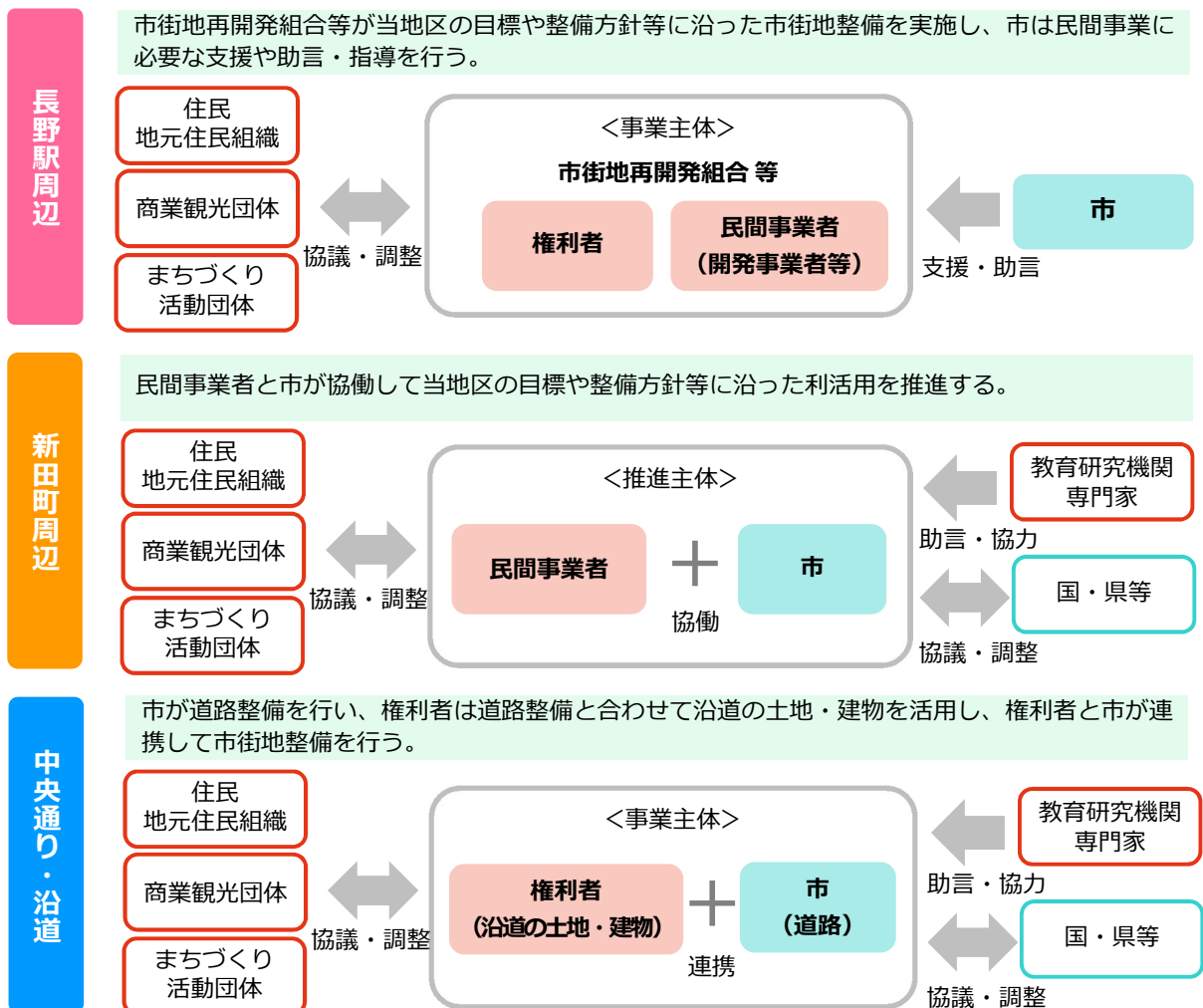
整備と連携したソフト施策

- 本地区の目標を実現するためには、ハード施策だけでなく、ソフト施策も一体となって進める必要があるため、市街地整備と連携して実施するソフト施策の取組方針を設定します。

取組方針	取組内容
1. 空間・施設の利活用促進 ～居場所づくり～	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定利用等による地域ニーズ把握・効果検証 ・地域ニーズを踏まえたサービスの提供 ・パブリックスペース等の機能の充実 ・利用者を想定した効果的な情報発信
2. 主体的な活動の推進 ～プレイヤーの育成～	<ul style="list-style-type: none"> ・商業環境づくりやイベント開催等の地域の主体的・自主的活動支援 ・多様な活動の場・機会等の提供による地域の担い手の育成 ・民間によるパブリックスペース等の活用・運営の仕組みづくり
3. 効果的な情報発信 ～活動の見える化～	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックスペース等を活用した活動等の展開 ・イベント等への参加による活動の周知 ・PR内容に応じた情報発信方法の工夫 ・地域の様々な活動を効果的・効率的に収集・発信する仕組みづくり
4. 多様な主体の連携 ～つながりの強化～	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の管理運営における民間のノウハウや技術等の活用 ・市民や地元団体、企業等の連携によるまちの維持管理 ・大学や民間事業者等と連携したスマートシティ施策等の検討

重点プロジェクトの推進体制イメージ

- 地区整備計画に位置付けた重点プロジェクト（P.11参照）の具体化に向け、推進体制イメージを示します。



整備計画図（重点プロジェクト）

中央通り・沿道

■中央通りウォークアブル推進事業

- (仮称)中央通り歩行者優先道路化事業
事業延長：約690m
事業内容：道路空間再配分、道路附属施設整備、道路美装化
事業主体：市

- 一体型滞在快適性等向上事業
事業区域：中央通り沿道 約1.5ha
事業内容：市実施事業((仮称)中央通り歩行者優先道路化事業)と一体となって実施される民地空間のオープンスペース化、建物低層部のオープン化
事業主体：民間

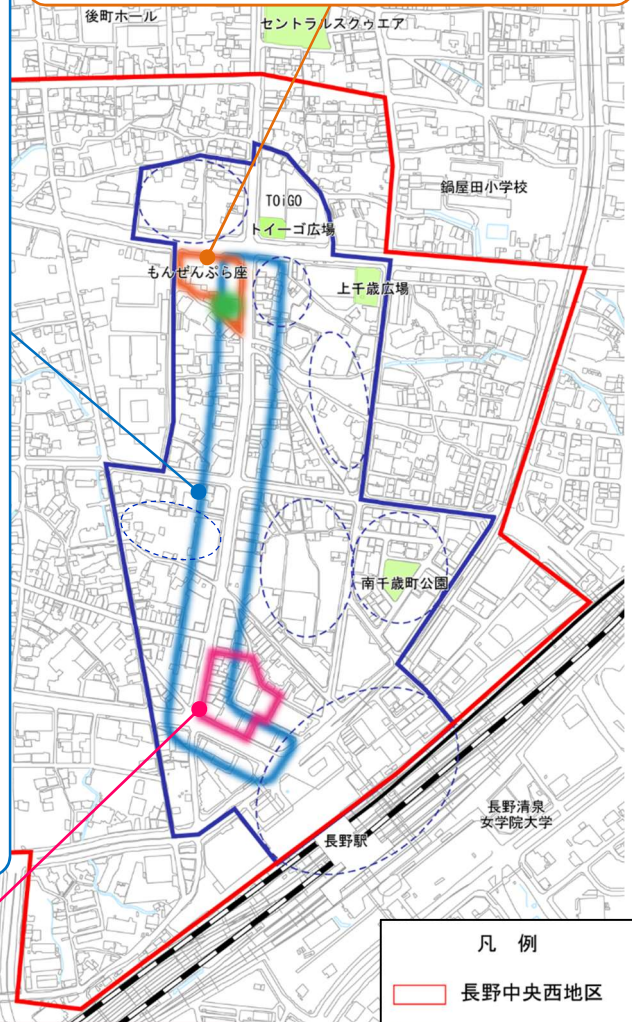
- (仮称)もんぜん青空テラス事業
実施路線：中央通り
実施内容：歩行者利便増進施設の設置
実施主体：民間
その他：歩行者利便増進道路(ほこみち)制度活用



一体型滞在快適性等向上事業適用イメージ

新田町交差点周辺エリア

- 南西街区もんぜんばら座敷地利活用推進
敷地面積：約0.4ha
想定する導入機能：文化、交流支援、オープンスペース等
推進主体：市・民間



凡例	
	長野中央西地区
	重点エリア
	中長期的な市街地整備検討エリア

長野駅周辺エリア

■(仮称)長野駅前B-1地区市街地再開発事業

- 整備面積：約0.6ha
導入機能：商業、観光、住宅、その他（広場、連絡デッキ等）
整備主体：長野駅前B-1地区市街地再開発組合（予定）



整備イメージ



広場（公開空地）のイメージ

※図に示した重点プロジェクトのエリアは予定のエリアです。